Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

63012567

PUBLICATION DATE

19-01-88

APPLICATION DATE

01-07-86

APPLICATION NUMBER

61154860

APPLICANT:

TOPPAN PRINTING CO LTD;

INVENTOR

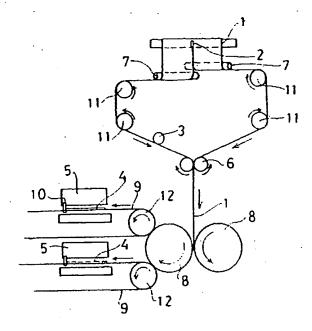
SUWAHARA SUSUMU;

INT.CL.

B65H 39/16 B65H 37/04 B65H 45/28

TITLE

MANUFACTURE OF COLLATOR



ABSTRACT:

PURPOSE: To manufacture a twofold superposed collator in an easy manner, by folding a web to be printed and discharged out of a web rotary press with a sized superposed twofold collator and a chopper folder without using a former folder.

CONSTITUTION: The said web is slit by a slitter 2 in two rows in the web forward direction and, after being divided into symmetrical two sides by turn bars 7 and 7 and guided, an inner surface to be superposed to the web on one side to the web 1 on the other is sized by a sizing roller 3 along the web forward direction. And both webs are superposed with each other, passed through between nip rollers 6, and both these webs are stuck to each other at a sizing part while pressing them. Afterward, a sheetlike superposed paper sheet 4 is formed by a cutting drum 8. The said paper sheet 4 is conveyed forward by a flat belt 9 and, after contacting with the front end, it is chopped by a chopper 5 of a chopper folder along the sizing part, making it into being twofold, thus a collator is formed.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

19日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭63 - 12567

@Int_CI_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和63年(1988)1月19日

B 65 H 39/16 37/04

8310-3F 8712-3F

劉発明の名称 折丁の製造方法

> ②特 願 昭61-154860

砂出 昭61(1986)7月1日

79発 明者 訪 進 创出

東京都台東区台東1丁目5番1号

頭 凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号

1 発明の名称

折丁の製造方法

2. 特許請求の範囲

輪転機印刷機の各ュニットを通過して印刷され て併出されたウェフを所定列にスリットし、核ス リツトした各ウエブを重ね合わせ方向に走行させ ながらその重ね合わせ内面を樹方向所定位置で印 射方向に糊付けした後重ね合わせ、ニツブロール により貼替し、印刷方面と萌交する方面に断殺し てシート状の糊付けされた重ね合わせ新葉を形成 した後に該シートをチョッパー折機により2つ折 りすることを特徴とする近下の製造方法。

3. 発射の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、輪転機印刷機の排紙部において、印 聞されたウェブを聞子状又は製水用折丁に形成す るための方法に関する。

(従来の技術)

輪転餓印制機で印刷されたウエブは、フォーマ - 折機によつてウェブ進行方向に2つ折りした後、 折腸によってそれと直交する方向に折つて折丁を 形成するものであるが、比較的簡単な折り形体、 例えば2つ折りの折丁を形成する場合は、このよ うなフォーマー折機及び折胴などは使用せず、比 疫的簡略化した手段によつて、なるべく大掛りな 調整を必要とする装置を省略して、能率的に実施 する必要がある。

(発明の自的)

本発明は、フォーマーを使用せずに断規解及び チョッパー折機によつて2つ折りの重ね合わせ折 丁を簡単に製造することを目的とする折丁の製造 方法である。

(発酵の構成)

本発明は、輪転鹿印納側各ユニツトを通過して 印刷され、排出されるウェブを所定列にスリツト し、該スリットされた各ウェブの重ね合わせ内面 の幅方向所定位置に棚付けして重ね合わせ、ニツ

プロールにより貼れしながら、印刷方向と前交する方向にシート状に断視し、該シート状の組集をチョッパー折側により2つ折りすることを特徴どする折下の製造方法である。

本発明方法を図面に従って評糊に説明する。

によりシート状に断殺して後、チョッパ 折りすることにより、B枚真の思着された折丁を形成するものである。第4回は、その単面園である。 (発明の作用)

- 3 -

本発明は、ウェブを数例にスリットしてその街 お合わせ内面にウェブ進行方向に沿つて棚付けした機能着してシート所扱し、チョッパー折膜によって2つ折りして数点からなる折丁を形成するものであり、棚付御側を機器とする冊子、あるいは製本用の折丁を比較的資材に製造することができ、例えば、風波の輪転機の折機に併設するなどによって実施することが可能である。

(発明の効果)

本発明は、ウエア輪転機印刷機により印刷されて排紙されるウェアを、従来のフォーマー折機を使用せずに、糊付けされた重ね合わせの2つ折り断工をチョッパー折機によって折ることによって 簡単に製造することができ、フォーマーの規範を 講覧作業を省力化でき、従来のフォーマー及び折 関による糊付け折丁の製造よりも、簡潔的な手段 ・折倒のチョッパー (5) により、その個付為に 沿つて、あるいはそれを外れた関所など所等関所 をチョップして、下側ニップロ・ラー (13) 問 を通して、2つ折りするものである。

第 2 例は、第 1 図の平面図であり、ウエブ (1)は、上下に、ウエブ進行方向 4 5 の角度に配置した各々ターンパー (7)によつて左右外側の同一列にそれぞれスリットされたウエブ (1)を贈送し、ガイドローラー (11)によつて 題送方向を変更して、真に各ウエブを連合わせて、ニップロ・フー (6)関にで減ウエブ (1)を貼着するものである。

第3回は、本発明において、無暴のスリッター(2)によってウエノ(1)を4列にスリットして打なう場合の実施例を示す正面図であり、、各々ウエブを各ガイドローラー(7)によって左右 2本づつ両側直角方向に方向変数させ、各々ウエ ノの重ね合わせ内面に紹付けした後重ね合わせ、 ニッノローラー(6)間を通して貼着し、このように貼着された4枚重ねのウエブを断裁順(8)

- 4 -

によつて容易に製造することができる。

4. 図前の簡単な説明

第1 図は水充明方法の1 実施例を説明する正面 例、第2 図は第1 図の平面図、第3 図及び第4 図 は水発明方法の他の実施例を説明する正面図及び 側面図、第5 図は水発明方法により得られる肝丁 の1 例を小す組視図である。

 1・・・ウェア
 2・・・スリッター

 3・・・閉付けローラ
 4・・・シート状框集

 5・・・チョッパー
 6・・・ニップローラー

 7・・・ターンパー
 8・・・所扱胴

 1 4・・・期付部
 1 5・・・折り目

16 · · · 折丁

特 的 的 人 凸版印刷机式会社 代表者 给 木 相 夫

